

## 平成 29 年度 第 2 回栗駒山火山防災協議会幹事会 会議録

1 日 時 平成 30 年 2 月 16 日（金）15：00 ～ 16：20

2 場 所 盛岡地域交流センター マリオス 18 階 188 会議室

3 参集者 別添出席者名簿のとおり

### 4 次第

1. 開会
2. 挨拶
3. 協議
  - (1) 栗駒山火山ハザードマップ（案）について
  - (2) 栗駒山火山防災協議会規約の一部改正について
  - (3) 栗駒山火山防災協議会の今後の取組みについて
4. その他
5. 閉会

### 5 討議概要

#### (1) 出席者名簿の修正について

- ・ 岩手南部森林管理署は代理の方が出席予定であったが、急遽欠席となったので、名簿を修正してほしい（事務局）。

#### (2) 第 140 回火山噴火予知連絡会について

- ・ 仙台管区気象台より 2 月 14 日実施の第 140 回火山噴火予知連絡会の内容について、報道発表資料により説明。
- ・ 3 月 7 日に第 1 回の会合を開き、検討を始める。観測する側としては難しい課題を突き付けられたが、今後検討していきたい（三浦委員）。

#### (3) 栗駒山火山ハザードマップ（案）について

- ・ 資料 1 により事務局から説明。
- ・ 資料 2 により土井委員から説明。
- ・ 資料 3 及び資料 4 によりアジア航測(株)から説明。
- ・ 資料 5 により齋藤委員及びアジア航測(株)から説明。
- ・ 説明後質疑応答。

#### (質疑応答内容)

- ・ 資料 5、ハザードマップの現象の説明書きのところについて、火砕流・火砕サージのところ、速度の記述はあるが、温度の記述がない。非常に高温のため、速度というよりも温度を数値にして記述したほうがいい（浜口委員）。
- ・ 温度も記述したい（事務局）。

- ・ 融雪型火山泥流の想定について、資料3の18ページに記載がある。ピーク時間660秒となっているが、泥流はゆっくり時間をかけて流れてくるものなのか、一気に流れてくるものなのか、時間と総量の関係について、教えてほしい（砂防災課）。
- ・ 総量は18ページの式に当てはめて計算している。地形や勾配を加味し、溶けて行く時間も考慮したものになっている（事務局）。
- ・ 一気に流れるのか、それとも徐々に流れるのか（砂防災課）。
- ・ 比較的、短い時間で流れる（事務局）。
- ・ 水蒸気の蒸発については考慮していないのか（砂防災課）。
- ・ 考慮していない（事務局）。
- ・ 一気に解けるという状態は必ず来るものである（伊藤委員）。
- ・ ハザードマップについては、若干の修正はあるが、基本的には原案のとおりとし、3月の協議会でお諮りしたいと考えている（幹事長）。

#### (4) 栗駒山火山防災協議会規約の一部改正について

- ・ 資料6、資料7及び資料8により事務局から説明。
- ・ 資料6の2ページ目、別表第1となっているが、別表第2の誤りであるので、修正してほしい（事務局）。
- ・ 質疑等特になし。資料のとおり改正するというので3月の協議会でお諮りしたい（事務局）。

#### (5) 栗駒山火山防災協議会の今後の取組みについて

- ・ 資料9により事務局から説明。
- ・ 質疑等特になし。資料のとおり3月の協議会でお諮りしたい（事務局）。

#### (6) その他

- ・ 次回は3月8日（木）に盛岡市勤労福祉会館大ホールにて、栗駒山火山防災協議会を開催予定である（事務局）。

以上